

平成25年シーズンのスキー客入込状況について

平成25年シーズン（平成24年12月～平成25年5月）における、県内のスキー場入込数を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

- 1 入込数 961,824人回（平成24年：973,353人回）
- 2 比較 対24年比 11,529人回、1.2%の減少
- 3 今シーズンの特徴

今シーズンはスタートから積雪に恵まれ、主要スキー場（8か所）の12月の入込は概ね堅調でしたが、その後、休日に天候が優れないことが多かったことや、昨シーズンにおける高速道路料金無料化の反動等により、主に県外からのスキー客の入込が伸び悩みました。一方、主要スキー場以外の各スキー場（13か所）では、例年よりも積雪に恵まれたことや、県内のファミリー客を中心に近場のスキー場利用が増加したこと等により、堅調な入込となりました。全体としては、昨シーズン並みの入込となったものの、目標としていた通期100万人回以上には至りませんでした。

【概況】

- 1 今シーズンはスタートから積雪に恵まれ、主要スキー場（8か所）の12月の入込は概ね堅調でしたが、その後、休日に天候が優れないことが多かったことや、昨シーズンにおける高速道路料金無料化の反動等により、主に県外からのスキー客の入込が伸び悩みました。
- 2 一方、主要スキー場以外の各スキー場（13か所）では、例年よりも積雪に恵まれたことや、県内のファミリー客を中心に近場のスキー場利用が増加したこと等により、堅調な入込となりました。
- 3 スキー客誘客は、本県の冬季観光振興にとって重要な取組であることから、いわてウインターリゾート協議会（事務局：株式会社岩手ホテル&リゾート）を中心に、関係市町村、東北観光推進機構等と連携を図りながら、特に県外客の集客に力を入れ、首都圏へ向けたPRのほか、豪州を中心に海外に向けての誘致活動に引き続き積極的に取り組み、通期100万人回以上の入込を目指します。

【参考】過去4年間の推移（単位：人回）

